

柱
IV

ひとのチカラ

国 福 教

プロジェクト

15

文化芸術

～文化芸術の魅力で人を引きつけ、心豊かで活力ある地域の実現～

文化芸術により真にゆとりと潤いを実感できる心豊かな県民生活と、活力に満ちた地域づくりの実現が求められています。特に、東京2020大会に向け、伝統芸能を含む文化芸術により地域のにぎわいを創出するとともに、その成果をレガシーとして、大会後もコミュニティの再生・活性化に生かしていく必要があります。

そこで、文化芸術の魅力で人を引きつけ、地域のにぎわいをつくり出す、マグカル(マグネット・カルチャー)の取組みのさらなる展開を図るとともに、笑いがあふれる社会の実現を後押しします。また、年齢や障がいなどにかかわらず、子どもから大人まで、あらゆる人の文化芸術活動の充実を図ることで、共生社会づくりに寄与するとともに、心豊かな県民生活の実現に向けて取り組みます。



指標

県文化芸術事業参加者数
(県文化課調べ)

2018年度実績

1,514,142人



2022年度

1,694,000人

神奈川県民ホール、神奈川芸術劇場、県立音楽堂、
かながわアートホール及び神奈川近代文学館の利用者満足度
(県文化課調べ)

2018年度実績

97%



2022年度

97%



具体的な取組み

A 県民の文化芸術活動の充実

- 県内各地域の伝統的な文化芸術を次代に継承していくため、市町村との連携による地域の伝統芸能の発表の場を設け、県内外に発信していくとともに、技術・技能の継承者の育成に取り組めます。
- 年齢や障がいなどにかかわらず、子どもから大人まで、あらゆる人が文化芸術に親しめるよう、鑑賞・参加機会を確保するとともに、年齢や障がいなどで異なる鑑賞・参加の手法などを整理し、文化芸術を通じた共生社会実現の環境づくりを進めます。
- 神奈川の文化芸術の将来を担う人材を輩出するため、県立施設などにおいて、あらゆる人を対象とした鑑賞事業、体験事業を実施していきます。特に、県立青少年センターではマグカルシアターなどの取組みを軸として舞台芸術の裾野を広げるとともに、神奈川芸術劇場では国際的に通用する人材を育成する取組みを推進します。

KPI

伝統芸能の体験・ワークショップ等の回数

現状(2018)	2019	2020	2021	2022
12	13	13	14	14

共生共創事業の公演等の参加者数

現状(2018)	2019	2020	2021	2022
2,532	5,000	5,400	5,700	6,000

マグカルシアター等参加者数

現状(2018)	2019	2020	2021	2022
6,572	10,000	10,200	10,400	10,500

B 文化資源を活用した地域づくりの推進

- 文化資源を活用した地域づくりを進めるため、文化芸術の魅力を発信する文化プログラムについて、官民一体となったオール神奈川による展開と定着を図ります。特に東京2020大会を契機に、インバウンドも意識した展開を図り、その後もレガシーとして地域の継続的な活性化につなげます。
- 県内の文化資源の発掘に努め、その具体的な活用を進めます。また、地域の活性化などに活用可能な文化資源については、市町村、文化芸術団体、芸術家などとの連携により有効活用を図ります。

KPI

神奈川文化プログラム認証件数

現状(2018)	2019	2020	2021	2022
425	430	460	460	460

県文化芸術振興審議会が選定した質の高い文化芸術活動を行う非営利活動団体数

現状(2018)	2019	2020	2021	2022
36	37	38	39	40

C 文化芸術の振興を図るための環境整備

- 地域からの持続的な文化芸術の振興が図られるよう、市町村との会議による情報交換や、市町村や文化芸術団体と協力した事業の実施や人材育成の支援に取り組めます。
- 県内外にマグカルのファンが広がるよう、芸術・文化イベントなどの情報を一元的に発信するポータルサイトである「マグカル・ドット・ネット」による情報発信や情報誌を発行するなど、情報発信の強化に取り組むとともに、ホームページや情報誌などでの多言語による情報提供を推進します。

KPI

県立文化施設で育成した文化芸術を担う人材数(計画期間中の累計)

現状(2018)	2019	2020	2021	2022
—	145	290	435	580

「マグカル・ドット・ネット」のページビュー数

現状(2018)	2019	2020	2021	2022
357,231	364,600	372,200	379,800	387,400